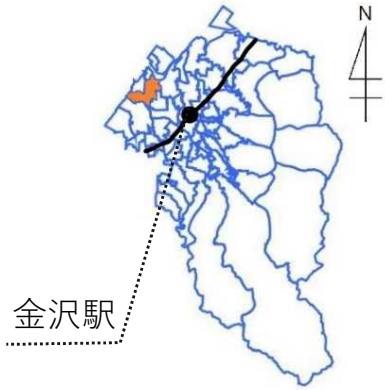


# 木曳野校区

## 国勢調査から見える校区のすがた

ひとめでわかる



### 1 人口・世帯数



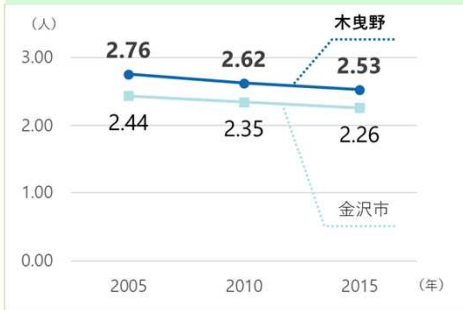
### 2 年齢3区分別人口



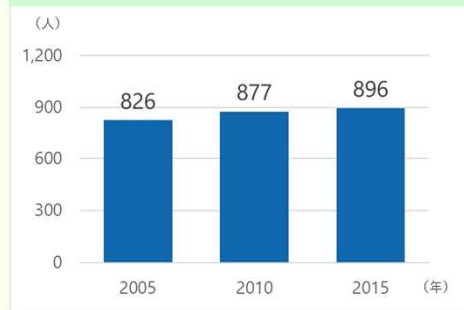
### 3 年齢3区分別人口割合



### 4 1世帯当たり人員



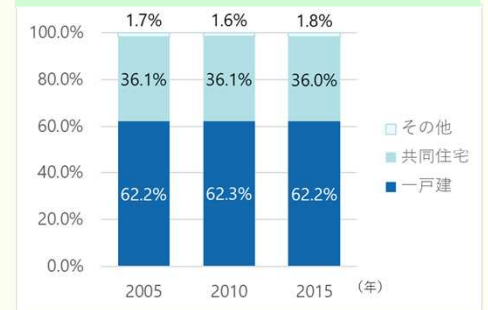
### 5 校区在住児童数[6-11歳]



### 6 高齢世帯数



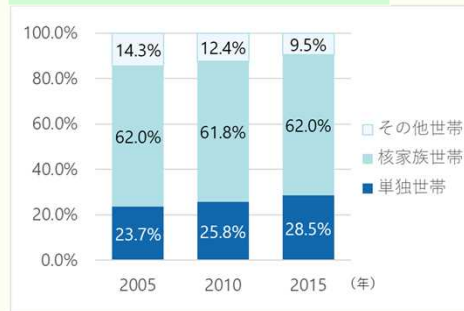
### 7 住宅の建て方割合



### 8 家族類型



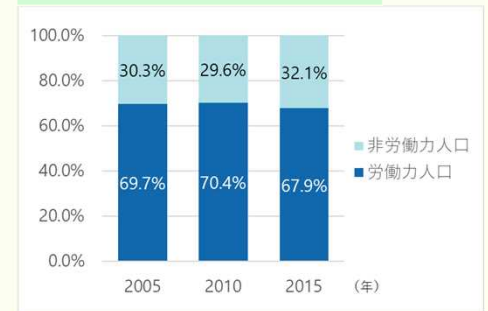
### 9 家族類型割合



### 10 労働力人口



### 11 労働力人口割合



## 準備中

※ 国から提供される2020年国勢調査の詳細結果を踏まえ、2022年8月頃に公表予定です。

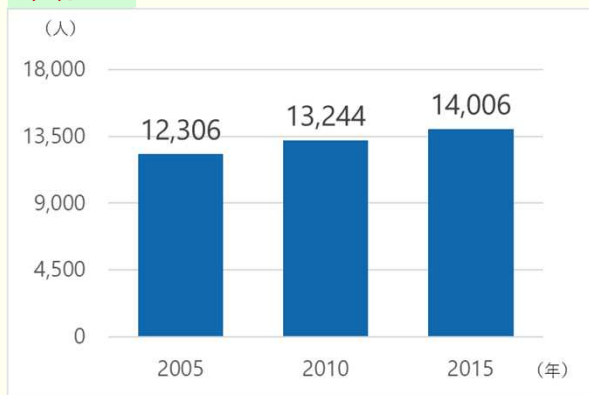
### I 概要 人口 14,006人 2010年に比べ+762人

2015年国勢調査による10月1日現在の木曳野校区の人口は14,006人で、2010年に比べ+762人となっている。世帯数は5,446世帯で、2010年に比べ+410世帯、1世帯当たり平均世帯人員は2.57人で、2010年に比べ▲0.06人となることから、世帯規模が縮小していることがわかる。

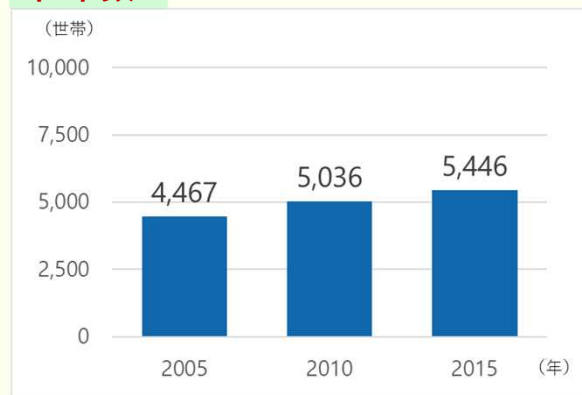
### 人口（男女別）及び世帯数

年	人口[人]					世帯[世帯]			
	総数	増減数	増減率	男	女	総数	増減数	増減率	1世帯当たり 平均世帯人員[人]
2005	12,306	—	—	6,010	6,296	4,467	—	—	2.75
2010	13,244	938	7.6%	6,362	6,882	5,036	569	12.7%	2.63
2015	14,006	762	5.8%	6,753	7,253	5,446	410	8.1%	2.57

#### 人口



#### 世帯数



### 2 人口 0～14歳人口、65歳以上人口が増加

年齢3区分別人口をみると、0～14歳人口は2,270人、15～64歳人口は8,735人、65歳以上人口は2,839人で、構成比はそれぞれ16.4%、63.1%、20.5%となり、2010年に比べ、人口、構成比ともに15～64歳人口は減少、65歳以上人口は増加しており、0～14歳人口については、人口は増加し、構成比は減少している。2010年との比較を増減数[増減率]でみると、0～14歳人口は+95人[+4.4%]、15～64歳人口は▲164人[▲1.8%]、65歳以上人口は+771人[+37.3%]となっている。

また、年齢3区分別人口の構成比の推移をみると、0～14歳人口の構成比と15～64歳人口の構成比は一貫して減少し続けており、65歳以上人口の構成比は一貫して増加し続けている。

#### 年齢3区分別人口 ※総数には年齢「不詳」を含む

年	人口[人]				構成比				増減率			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
2005	12,306	2,051	8,624	1,619	100%	16.7%	70.1%	13.2%	—	—	—	—
2010	13,244	2,175	8,899	2,068	100%	16.5%	67.7%	15.8%	7.6%	6.0%	3.2%	27.7%
2015	14,006	2,270	8,735	2,839	100%	16.4%	63.1%	20.5%	5.8%	4.4%	▲1.8%	37.3%

#### 年齢3区分別人口



#### 年齢3区分別人口の構成比



### 3 世帯 単身者、2人世帯、3人世帯、4人世帯が増加

#### (1) 世帯数及び世帯人員

一般世帯数は5,441世帯で、増減率の推移をみると、2010年が+13.0%、2015年が+8.1%と一貫して増加し続けている。

世帯人員別の増減率をみると、1人～4人世帯が増加している一方、5人以上の人員の世帯は減少している。また、世帯人員別の構成比は、1人世帯が28.5%と最も大きく、次いで2人世帯、3人世帯と、世帯人員が多くなるほど小さくなっている。

#### 世帯人員別一般世帯数

年		総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
一般世帯数 [世帯]	2005	4,454	1,056	1,103	954	836	306	136	63
	2010	5,034	1,300	1,313	1,068	899	299	112	43
	2015	5,441	1,550	1,428	1,094	954	287	92	36
構成比	2005	100%	23.7%	24.8%	21.4%	18.8%	6.9%	3.1%	1.3%
	2010	100%	25.8%	26.1%	21.2%	17.9%	5.9%	2.2%	0.9%
	2015	100%	28.5%	26.2%	20.1%	17.5%	5.3%	1.7%	0.7%
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	13.0%	23.1%	19.0%	11.9%	7.5%	▲2.3%	▲17.6%	▲31.7%
	2015	8.1%	19.2%	8.8%	2.4%	6.1%	▲4.0%	▲17.9%	▲16.3%

## 3 世帯

## (2) 世帯の家族類型

一般世帯数について、その世帯主と世帯員の続柄により家族構成を類型化（家族類型）してみると、「核家族世帯」は3,373世帯と、一般世帯の62.0%を占めており、2010年に比べ+264世帯[+8.5%]となっている。また、世帯人員が一人の「単独世帯」は1,550世帯で、2010年に比べ+250世帯[+19.2%]となっている。

世帯の家族類型別一般世帯数

年		総数	単独世帯	核家族世帯	その他の世帯
一般世帯数 [世帯]	2005	4,454	1,056	2,762	636
	2010	5,034	1,300	3,109	625
	2015	5,441	1,550	3,373	518
構成比	2005	100%	23.7%	62.0%	14.3%
	2010	100%	25.8%	61.8%	12.4%
	2015	100%	28.5%	62.0%	9.5%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	13.0%	23.1%	12.6%	▲1.7%
	2015	8.1%	19.2%	8.5%	▲17.1%

## 3 世帯

## (3) 高齢世帯

一般世帯のなかで、「高齢単身世帯」は365世帯で、2010年に比べ+125世帯[+52.1%]であり、一般世帯の6.7%を占めている。また、「高齢夫婦世帯」は491世帯で、2010年に比べ+121世帯[+32.7%]であり、一般世帯の9.0%を占めている。

## 高齢世帯数

年	一般世帯数 [世帯]	高齢単身世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率	高齢夫婦世帯 [世帯]	一般世帯に 占める割合	増減率
2005	4,454	157	3.5%	—	279	6.3%	—
2010	5,034	240	4.8%	52.9%	370	7.4%	32.6%
2015	5,441	365	6.7%	52.1%	491	9.0%	32.7%

※ 高齢単身世帯は、65歳以上の一人のみの一般世帯。

高齢夫婦世帯は、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯。

## 4 住宅 所有関係にかかわらず一般世帯が増加

## (1) 住宅の所有関係

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数をみると、持ち家に住む世帯の方が多く、3,186世帯[構成比59.6%]と全体の約6割を占めている。

また増減率をみると、2010年に比べ持ち家に住む世帯が+7.9%、持ち家以外に住む世帯が+6.8%となっている。

住宅に住む一般世帯の所有関係別世帯数

年		総数	持ち家	持ち家以外
実数[世帯]	2005	4,406	2,601	1,805
	2010	4,979	2,953	2,026
	2015	5,350	3,186	2,164
構成比	2005	100%	59.0%	41.0%
	2010	100%	59.3%	40.7%
	2015	100%	59.6%	40.4%
増減率	2005	—	—	—
	2010	13.0%	13.5%	12.2%
	2015	7.5%	7.9%	6.8%



## 4 住宅

## (2) 住宅の建て方

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別構成をみると、一戸建に住む世帯が3,327世帯と最も多く、住宅に住む一般世帯の62.2%を占めている。以下、多い順に共同住宅に住む世帯が1,926世帯[構成比36.0%]、その他の住宅に住む世帯が97世帯[同1.8%]となっている。

また増減数[増減率]をみると、2010年に比べ一戸建に住む世帯が+225世帯[+7.3%]、共同住宅に住む世帯が+131世帯[+7.3%]となっている。

住宅に住む一般世帯の住宅の建て方別世帯数

年		総数	一戸建	共同住宅	その他
住宅に住む 一般世帯数 [世帯]	2005	4,406	2,742	1,591	73
	2010	4,979	3,102	1,795	82
	2015	5,350	3,327	1,926	97
構成比	2005	100%	62.2%	36.1%	1.7%
	2010	100%	62.3%	36.1%	1.6%
	2015	100%	62.2%	36.0%	1.8%
増減率	2005	—	—	—	—
	2010	13.0%	13.1%	12.8%	12.3%
	2015	7.5%	7.3%	7.3%	18.3%

### 5 労働 労働力人口が増加

15歳以上人口は11,574人で、2010年に比べ+607人[+5.5%]となっている。労働力人口は7,455人で、2010年に比べ+26人[+0.3%]、非労働力人口は3,518人で、2010年に比べ+392人[+12.5%]となっている。労働力率は64.4%で、2010年に比べ▲3.3ポイントとなっている。

男性の労働力人口が減少している一方、女性の労働力人口は増加している。

		15歳以上人口			労働力人口			非労働力人口		
年		総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
人口 [人]	2005	10,243	4,989	5,254	6,920	3,907	3,013	3,009	860	2,149
	2010	10,967	5,227	5,740	7,429	4,103	3,326	3,126	935	2,191
	2015	11,574	5,543	6,031	7,455	4,087	3,368	3,518	1,134	2,384
増減数 [人]	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	724	238	486	509	196	313	117	75	42
	2015	607	316	291	26	▲16	42	392	199	193
増減率	2005	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2010	7.1%	4.8%	9.3%	7.4%	5.0%	10.4%	3.9%	8.7%	2.0%
	2015	5.5%	6.0%	5.1%	0.3%	▲0.4%	1.3%	12.5%	21.3%	8.8%

労働力率		
総数	男	女
67.6%	78.3%	57.3%
67.7%	78.5%	57.9%
64.4%	73.7%	55.8%
-	-	-
0.2	0.2	0.6
▲3.3	▲4.8	▲2.1

※増減の単位は[ポイント]

※労働力率は四捨五入のため、増減の表記と計算結果が一致しないことがある。

※ 15歳以上人口 = 労働力人口 + 非労働力人口 + 労働力状態「不詳」の人口

労働力率 = 労働力人口 / 15歳以上人口

労働力率は、労働力として経済活動に参加している人の比率をみる指標として利用されている。